



## No.007 空港コンセッションに福岡県はどう対応するべきか？ 出資をやめて民間に任せるべき。



空港コンセッションというのは民間企業が国から滑走路を使う権利を買って空港を運営する事業です。福岡空港の値段はなんと4500億円です。運営する会社は昔のような自治体がバックについている第3セクターではなく、経営に失敗すれば倒産する普通の株式会社です。成功すればリターンも大きいが、失敗すれば株主が責任を取らなければなりません。

国のガイドラインでは、自治体の出資は原則行わないこととする、とされています。空港間競争は熾烈で、素早い経営判断が求められます。悠長に役所の判断を待つわけにはいかないのです。それに環境問題など経営に厳しい県民の声が上がった時、県は株主としてどう対応するのでしょうか。

県は民間企業の外から公的立場で発言すればいいのです。県の役人が誰よりも民間空港経営のノウハウを持っているのならば、株主として大いに発言してもらいたい。倒産につながるような行動や発言はしないでほしい。県は金儲けに自信がなければ出資は引き上げるべきです。